

市民活動団体紹介

NPO法人 ハンズハーベスト北海道

賞味期限内でありながら、様々な理由から廃棄される食品と食材。捨てられる食品がある一方で、日々の食べ物に事欠く人がいます。私たちは年間、100トンの食品等を企業や個人から譲り受け、児童養護施設など支援施設やひとり親家庭に届けています。写真はひとり親家庭向けの一例です。これに米、野菜、パンなどを加え、家族構成にあわせ、届ける品をきめ細かく選び、ボランティアスタッフが直接届けています。年末で現在の作業場が使えなくなり、移転先を探しています。心当たりの方は情報をお寄せください。



▲手分け袋に入れて個別に手渡しします

【問い合わせ】 電話・FAX 011-533-3375 携帯 090-8371-3636(小山)

NPO法人 ナルク札幌さくらんぼ

「1時間ボランティアをすると1点が加算され、貯めた点数を困った時に使う」。会員同士が気兼ねなく助け合える仕組みが当会にはあります。このボランティア貯金は老後への不安を和らげ、やる気アップと仲間づくりに役立っています。活動の一例「古い着物のリメイク」は、着るシーンを失くした着物の「もったいない」からスタート。今は想いに寄り添ってくださる先生のアドバイスで、着物の柄を活かした普段着や祝いの席にぴったりの洋服を作っています。またお昼の持ち寄りランチやおしゃべりも欠かせないお楽しみ。楽しくボランティアを続けられる秘訣です。



▲きものを処分する前に、ぜひ一度ご相談ください。ご期待に添える使い道がきっとありますよ！

【問い合わせ】 011-758-1103(河上) URL: <http://www.ss-sakuranbo.org/>

NPO法人 札幌リーディングサービス「朗読110番」

「必要な人に、必要な情報を、必要な時に」を原点に、目の不自由な方、文字が読みにくい方に「声」で情報を提供しています。その日の新聞記事を電話でお読みする「声の新聞」、FAXで送られてきた文書を電話で読み伝える「FAX代読サービス」、希望の本や資料を録音する「プライベート用録音図書制作」はその一例です。よろしければ、この情報を視覚障害者や高齢者の方にお伝え下さい。活動を始めて30年目を迎えました。わかりやすく正確に伝えるために毎月学習会を重ねています。



▲「声の新聞」は平日11~14時、朝日・毎日・道新からご希望の記事をお読みします

【問い合わせ】 080-1894-9772 「声の新聞」の利用:011-842-0110

札幌市市民活動サポートセンター登録団体をご紹介します。このコーナーは編集ボランティアスタッフが担当しています。

NPO法人 理美容支援ネットワーク「髪結・かみゆい」

「身だしなみ」の一環としては勿論、「リフレッシュ」のために訪れる人も多い理美容室ですが、高齢者や身障者にとって、自ら出掛けて行くのは、ひと苦勞。「髪結」は、そんな方々のために、訪問・送迎理美容を行っています。個人宅や施設へオジャマしたり、車で送迎をする事で、誰でも気軽に髪を切ったりパーマをかけたり出来ます。寝たきりの方、車椅子の方でも大丈夫。一人ひとりに合った介助方法で、親切丁寧に、「美しさ・格好よさ・若々しさ」をお手伝いしています。



▲高齢者施設での訪問理美容の様子

【問い合わせ】 011-582-2596(三河)

フォトボランティア「ポレポレ」

私たちは写真を通じて社会貢献をした。平成6年に活動をスタート。福祉施設や公共団体の要望に応じて、ボランティアで写真撮影を行っています。これまで50以上の施設や団体から、延べ700件以上の依頼があり、延べ約1400人に対応してきました。写真は、学校や団体の行事や祭り、旅行会などの記録撮影が中心ですが、関係者の方々に「ありがとう」と声をかけられることが、なにより励みです。平成27年には福祉ボランティア部門で市長表彰を受賞しました。あなたも写真のセンスを生かして社会貢献をしてみませんか。詳しくは下記のホームページをご覧ください。



▲札幌市生涯学習センター「ちえりあ」でのロビーコンサート撮影の様子

【問い合わせ】 011-891-3018(江上) URL: <http://www.geocities.jp/polepole1994/>

札幌西少年少女発明クラブ

私たちは、学校教育とは一味違う内容や、家庭では経験できないことをたくさん体験させる活動で創造力豊かな子どもを育てます。クラブでは「プログラミング」と「ものづくり」の2つの活動を実施しています。2020年から小学校で必須科目とされるプログラミングは、クラブでも大人気です。プログラミング環境Scratch(スクラッチ)を使用し、自らゲームのストーリーを考え、自分でプログラミングをすることで、論理的な思考能力や問題解決力が身に付きます。一方、「ものづくり」では、全国チャレンジ創造コンテストに参加。動力車とからくりパフォーマンスカーを製作して先日札幌地区大会に参加。惜しくも2位の成績でしたが来年も挑戦します。



▲ゲームは自分で作って遊ぶもの！

【問い合わせ】 info@yume-codomo.com(金城)

みんなのしみサポ

札幌市市民活動サポートセンターだより

第44号 2016.9

市民活動団体登録数(8月末現在)

市民活動登録団体 …… 2,642団体
男女共同参画活動団体 …… 56団体
消費者活動団体 …… 30団体
環境活動団体 …… 57団体

札幌市市民活動サポートセンターはNPOやボランティア活動などの市民活動を支援する拠点施設です。

スポーツでつながろう！

みなさんは、スポーツを「する派」「見る派」「支える派」？ 楽しみ方は人それぞれですが、スポーツには人を夢中にさせたり、感動させたり、笑わせたり…他にもいろいろな力がありますよね。札幌には、「スポーツ」で人やコミュニティをつないでいるNPOがあります。のぞいてみましょう、札幌のスポーツのはなし。



知的障がい者の可能性を広げる力

「スペシャルオリンピックス(SO)」は、年間を通じて地域の方々と一緒にさまざまなスポーツを行い、記録会や競技会でレベルアップを目指します。地域から全国、そして世界大会へと目標は限りなく広がります。日常のトレーニングは家族やボランティア等がサポートするため、ボランティアコーチの育成も行っています。SON北海道では、知的障がいのある人となない人がチームで競技する「ユニファイドスポーツ」として年1回ボウリング大会を開催しており、初めて知的障がいの人たちと接する方でも一緒にゲームを楽しむ時間を共有できるので、お勧めです。現在は、2020年冬季ナショナルゲームの札幌開催をめざして、北海道でのSOMーブメント普及に力を入れています。(白石友子さん)



▲今年2月に開催した冬季ナショナルゲーム(新潟)開会式で灯された聖火と大会ロゴ。ロゴのカラーには、一人一人の個性を活かしながら、多くの人たちがひとつになってかわる大会」という意味が込められている

知的障がいのある方々(アスリート)がスポーツを通じて健康を増進し、勇気や喜びを知り、家族や地域の人々と共に感動を分かち合いながら、生産的な社会人として自立できるよう支援することを目的に、日常的なスポーツトレーニングと、その成果発表の場である競技会を提供している。

NPO法人
スペシャルオリンピックス日本・北海道
TEL & FAX : 011-709-3303
メール: son_hokkaido@son.or.jp
URL : <http://www.son-hokkaido.org/>



▲来年オーストリアで行われる冬季世界大会には、北海道からフィギュアスケートとクロスカントリーで4名の選手が出場する予定。

誰もが楽しんで参加できる環境づくり

「遊び」から「スポーツ」になっていく入り口のお手伝いをして地域を活性化したい。早く走れなくても、走る楽しさを知ってもらえれば良いんです。難しく考えず、競技を簡単に体験できて楽しむきっかけをつくるイベントを実施しています。そして、コンシェルジュとしてスポーツを通じた「架け橋」となり、人や文化など様々な要素を繋いで人の輪を広げていきたいですね。スポーツには人を元気にするパワーがあります。「こんなことができないかな」という市民目線で、みなさんに楽しんでもらうために幅広い発想でチャレンジしていきたいと思います。

(小野寺敬介さん、落合祐司さん、落合早苗さん)



▲真冬に地区センターの屋上を除雪して、ウィンタースポーツを楽しんでもらえるキッカケづくり「冬あそびピック」を開催。帰ってからも遊べる競技「ほうきホッケー」

「北海道がスポーツで元気になる。北海道がスポーツで笑顔になる。」をキャッチコピーに、市民目線でスポーツをツールとしたコミュニケーション・地域交流・青少年育成や、スポーツと他分野とのコラボレーション等の事業を実施し、スポーツに関する情報提供や活動支援を行っている。

NPO法人
北海道スポーツコンシェルジュ
TEL & FAX : 011-882-1030
メール: hsc@npohsc.undo.jp
URL : <http://npohsc.undo.jp>



▲トップアスリートが実際に競技で使う道具に触れて、重さやテクニックのすごさを実感すると、テレビで見た時に見方が変わりますよ。アイスホッケーの「なりきりゴールキーパー体験」



▲北海道マラソン教室で給水をするボランティア。今年度は給水のスキルアップやマニュアル作りを強化したい。



▲主催する北海道スノーマラソン。最近は冬でも圧雪して走れるところが増え、昨年は300人程が参加した。

北海道マラソンをきっかけに、組織委員会だけではできないさまざまなサポートができるようにするために設立された団体。北海道マラソンの運営支援やマラソン教室実施のほか、各種スポーツボランティアに関する情報発信等も行っている。

認定NPO法人
ランナーズサポート北海道
FAX : 011-210-5059
メール: runsupport@aurora-net.or.jp
URL : <http://runsupport-h.org/>

みんなのしみサポ 第44号

- 発行日:平成28年9月
- 発行:札幌市市民活動サポートセンター
指定管理者:(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
- 住所:〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目
札幌工ルプラザ公共4施設2階
- アクセス:JR札幌駅北口より徒歩3分
(札幌駅北口地下歩道12番出口横から直通)
- 電話:(011)728-5888 ●FAX:(011)728-7280
- ホームページ: <http://www.shimin.sl-plaza.jp>
- facebookページ: <https://www.facebook.com/shimin.sl.plaza>



みんなのしみサポ 編集ボランティア活動の様子



『みんなのしみサポ』は編集ボランティアスタッフと札幌市市民活動サポートセンター職員が協力して作成しています。

事前に質問したいことをまとめ、団体の方の気持ちや情報を正確に伝える文章になるよう心がけて取材しています！

市民活動 ズームイン!

編集ボランティアスタッフによる体験取材コーナーです。

▼ 麻生駅最寄りのスーパー前に集合



7月10日(日)午後1時。月に一度の車イスユーザーが街に出て楽しむイベントが行われました。

今回は愛犬と一緒に「ドッグカフェでランチ」

▼ 参加者と一緒に福祉タクシーに乗車



歩道と車道の段差が大きく、男性二人が車イスごと持ち上げ、参加者を車道に降ろします。

▼ ドックランを併設したドックカフェに到着



参加者は、顔馴染みでも、ワンちゃん同士は初対面のように、緊張気味。

▼ カフェで腹ごしらえ!ワンちゃんもランチ



ワンちゃんのランチも本格的で美味しそうです。

食欲旺盛でペロッと完食!

▼ 雨が上がり、みんなでドックランへ移動



参加者もワンちゃんも、自由気ままに過ごします。

ワンちゃん大はしゃぎ!

お問い合わせ先
電話 090-5984-9133(平間)
メール info@spotwalking.com
URL https://spotwalking.com/
Facebook https://www.facebook.com/kokofuben

今回ご紹介するのは…

スポットウォーキングさっぽろ

車イスユーザーをはじめ、不自由を抱える人々とともに街中に点在する「便利さ・不便さ」を実際に体験。そこで得られた情報をメディアで公開、共有する活動をしています。



楽しむことを諦めない!

●●気づいたことはみんなで共有

到着から2時間余り、ワンちゃん同士もすっかり打ち解けたところで、そろそろ本日のイベントは終了。再び福祉タクシー等に分乗して麻生駅に戻り、近くのファミレスへ。毎回のイベントの最後には、振り返りの時間。気づきや感想を共有しました。

「犬がこんなに喜ぶ姿を初めて見て、自分もとても幸せ!自分だけではできないことでも、仲間と一緒にならできるということを実感した」「これからも楽しむことを大切にしたい」「地下鉄のホームは、やはり車イスだと怖い所がある」などなど。

●●グルメサイトやフェイスブックで情報を伝えます

代表の平間さん(平間 栄一さん)に何うと、今年に入ってからだけでも、「プラネタリウム見学」「ケーキの食べ放題」「雪まつり見学」などさまざまな企画を実施したとのこと。また、イベント以外にも、「車イスで入れる美味しいお店」というグルメサイトを運営したり、同じタイトルの小冊子を既に3号も発行しています。掲載を交渉する過程で、車イス用のスロープの設置を提案して、取り付けを手伝ったりもしています。



グルメ冊子「車イスで入れる美味しいお店」

●●体験取材を終えて…

実は、朝からの激しい雨のせいで、取材前は少しテンションが下がりが気味でした。でも、可愛いワンちゃんと、積極的で前向きな参加者の皆さんと楽しい時間を過ごし、取材を終えた時には、とても温かい気持ちになれ、素晴らしい体験でした。

今度は、取材ではなくイベントに顔を出してみたいくなりました。

みんなの市民活動相談

最近寄せられた市民活動に関する相談をご紹介します。

Q1 会議では、活動経験が豊富な人、声の大きい人の発言ばかりが目立ちます。もっと多くの人の意見を活動に反映したいと思っています。

A1

普段発言しない人でも様々な意見・経験を持っていることがあります。それらをうまく引き出して会の「財産」として活かしたいものです。そのために会議にワークショップの手法を取り入れてはいかがでしょうか?たとえば、ポストイットを使って一人ひとりの考えを書き出したり、ワールドカフェで少人数での意見交換をして、平等に、安心して発言する機会をつくることもできます。そのような話し合いをサポートしてくれる団体もあります。



市民活動相談員 都築 仁美さん (さっぽろパブリックサポートネットワーク)

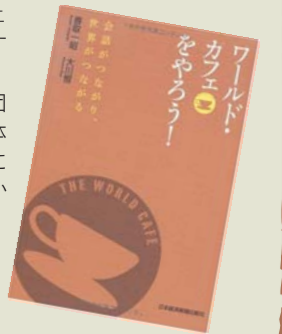
図書紹介

「ワールド・カフェをやるう!」

香取 一昭、大川 恒【著】
日本経済新聞出版社

年齢や立場を越えて多様な意見を交し合う。利害が異なる人の言葉にも丁寧に耳を傾ける。そのような「対話」からは、たくさんのステキなものが生まれます。信頼関係、新しい知恵や情報、事業のアイデアetc。

ワールドカフェは「対話」を促す方法の一つです。風通しのいい団体運営、他団体との交流などに役立ててはいかがでしょうか?



Q2 ボランティアへの謝金とアルバイトへの賃金をどのように区別したらいいですか?

A2

一般的に、「ボランティア」は「自発的な意志」で活動に参加しており、「アルバイト」は「労働の対価」を得るために来ていることが多いのかと思います。そして、税務上「労働の対価」になるかは(1)指揮命令を受け(2)時間的・場所的に拘束され(3)旅費その他の費用の支給があり(4)時給等で対価を計算しているなどの条件を総合的に判断した結果により決まります。そのため、「ボランティア」の方々とは、「労働の対価」には該当しないことをお互い確認しておいた方が良いでしょう。



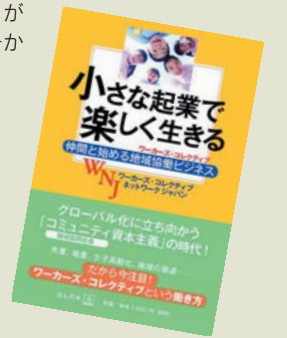
税務・会計相談員 瀧谷 和隆さん (税理士)

図書紹介

「小さな起業で楽しく生きる」

ワーカーズ・コレクティブ ネットワーク ジャパン【著】
ほんの木

これまでの働き方では何か満足感が得られない、自ら又は仲間と一緒に起業してみたい、住み慣れた地域の課題を解決したいなど、自己実現を達成するための新しい働き方のヒントが得られる一冊かと思えます。



このコーナーで紹介した図書は、札幌エルプラザ公共4施設1階の情報センターで借りることができます。

お知らせ

市民活動相談
活動経験豊富な「さっぽろパブリックサポートネットワーク」のメンバーが無料で相談をお受けします。

相談日時
火曜～金曜日 15:00～18:00 (祝日休)

税務・会計相談
北海道税理士会所属の税理士が法人会計等の相に無料でお答えします。

相談日時 (要予約)
10月17日(月) 15:00～18:00
10月24日(月) 17:00～20:00
12月12日(月) 15:00～18:00

法律相談
「NPOのための弁護士ネットワーク」の弁護士が市民活動団体・NPO法人運営に関する法律のご相談に無料でお答えします。

相談日時 (要予約)
10月3日(月) 15:00～18:00
11月7日(月) 15:00～18:00
12月5日(月) 15:00～18:00

NPOはじめて講座
市民活動(NPO)ってどんなこと?NPOとボランティアの違いは?等、市民活動を始めるうえで知っておきたい基礎的な知識を学びます。

日時 11月5日(土) 14:00～15:30
会場 札幌エルプラザ公共4施設2階 会議室1・2
対象 市民活動について知りたいと考えている市民の方
定員 20人(先着順)

受講料 無料

NPO法人設立講座
NPO法人についての基本的な概要や法人設立に必要な手続きについて学びます。

日時 10月25日(火) 19:00～21:00
会場 札幌エルプラザ公共4施設2階 会議室3・4
講師 さっぽろパブリックサポートネットワーク
対象 NPO法人の設立を考えている方、NPO法人について関心のある方
定員 20人(先着順)※同一団体からの参加は2人まで
受講料 800円

サロン事業「しみさつながらカフェ」
「ハッピーなエンディングをめざして～自分のために 家族のために～」
葬送儀礼に対する素朴な疑問から始まり、札幌で終活の先駆けとなった市民活動団体が見えてきたものや意義、変化や課題などを参加者と共有し、考える交流サロンです。

日時 10月1日(土) 10:00～12:00
会場 札幌市エルプラザ公共4施設1階 情報センター
情報提供者 澤 知里さん(特定非営利活動法人葬送を考える市民の会)
対象 市民活動に取り組む、またはテーマに関心のある市民の方
定員 20人(先着順)

受講料 無料

※「税務・会計相談」「法律相談」は完全事前予約制です。予約は相談日の前週月曜日までにお願いします。

会場 札幌市市民活動サポートセンター相談窓口

※他にも役立つ情報をHPに掲載していますのでご覧ください。HP: <http://www.shimin.sl-plaza.jp>